

単元名 詩を味わおう

配当時間

1 時間

- 単元の目標 (1) 比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができる。
 (2) 詩を読んで感想をまとめるとともに、それを共有して考えを広げることができる。
 (3) 表現の工夫について考え、詩の印象を伝え合おうとする。

標準的な展開例

05010201_001

【教材名】 からたちの花 (P. 94～P. 95)

【準備等】 からたちの花の写真や画像、「からたちの花」の楽曲が収録されているCD

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 詩を音読する。 ★五音・七音の繰り返しを味わいながら、音読しよう。 ○「からたちの花」を読み、気付いたことや感じたこと、考えたことなどをノートに書く。</p> <p>○書いたことを交流する。</p> <p>○詩を音読し、言葉の意味を考えたり、言葉のリズムを味わったりする。</p> <p>○叙述や言葉から思い浮かんだ場面や分かったことなどを感じながら音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作者「北原白秋」について触れる。 ・「からたちの花」は、どんな花なのか写真等で確かめさせる。 ・表現上の工夫、場面の様子、作者の思いなどについて感想を書かせる。 【評】感想を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】感想を交流する活動を通して、考えを伝え合おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・比喻、反復などを手がかりに、情景を想像させる。 【評】言葉の意味を考えたり、言葉のリズムを味わう活動を通して、比喻や反復などの効果に気付く「知識・技能」を評価する。 ・どのようにすれば自分の描いたイメージを聞き手に伝えることができるかを考えさせ、声の強弱、速さなどを工夫させる。 ・「からたちの花」は、楽曲になっていることを知らせ、曲を聴かせる活動を行うとよい。

【 備 考 】